

トピックニュース

■日向・宝城坊本堂の大規模改修

国の指定重要文化財である日向・宝城坊本堂の350年ぶりの大規模改修が始まりました。教育委員会では、文化庁等とともに支援を行っていきます。完成は平成28年度を予定しています。



現在の日向・宝城坊本堂

[担当：文化財課]

■公民館まつりの開催

市内の7公民館では、2月19日～27日の間で、「公民館まつり」が開催されました。作品の展示やサークルの発表、模擬店など、子どもから高齢者まで、多くの方々に参加していただきました。



成瀬公民館まつりの様子

[担当：社会教育課]

■プラネタリウムにデジタル投影機を導入

子ども科学館では、プラネタリウム事業を推進するため、デジタル投影システムを導入しました。コンピュータグラフィックを活用した臨場感あふれる映像を提供していきます。



プラネタリウム（魚眼撮影）

[担当：図書館・子ども科学館]

■伊勢原ロードレース大会の開催

毎年恒例となっているロードレース大会が開催され、みなさん楽しく健脚を競いました。



12/12(日)「市民走れ走れ大会」

1/16(日)「伊勢原駅伝競走大会」

※3/13(日)「大山登山マラソン大会」は、伊勢原駅伝競走大会大地震の影響で中止になりました。選手に用意された飲料水等は、スポンサーのご理解により被災地にお送りしました。[担当：スポーツ課]



■桜台小学校2期校舎竣工式

1月6日、桜台小学校2期校舎完成を祝って竣工式を開催しました。PTAや地域の方々など、大勢のみなさんに参列していただきました。また、竣工式の模様は教室のテレビにも同時上映しました。

[担当：教育総務課]



教室で同時上映

竣工式テープカット



平成23年度(H23.4.1～H24.3.31) 伊勢原市教育委員会 主な事業予定

4月～5月	・2011子ども読書フェスタ (伊勢原市立図書館)	9月～10月	・地区・学区住民体育祭 (市内各小中学校)
5月	・子ども科学館フェスティバル (伊勢原市立子ども科学館)	10月～11月	・第47回伊勢原市民文化祭 (市民文化会館ほか)
	・小学校演劇鑑賞会 (市民文化会館大ホール)	11月	・文化財保護強調週間事業 (日向・宝城坊など)
6月	・第16回いせはら市展 (中央公民館)		・第13回いせはらCITYウォーク(市内)
6月～9月	・第41回伊勢原市総合体育大会 (伊勢原市体育館ほか)		・小学校音楽鑑賞会 (市民文化会館大ホール)
7月～8月	・公民館 夏休み期間各種事業(市内全公民館)	12月	・第41回市民走れ走れ大会 (市総合運動公園)
	・夏休み 学校プール開放(市内全小学校)		・第23回市民音楽会 (市民文化会館大ホール)
	・夏休みおはなし会、夏休み子ども映画フェスティバル (伊勢原市立図書館)		・図書館 年末各種イベント (伊勢原市立図書館)
8月	・平成23年度 教育講演会 (市民文化会館大ホール)	1月	・第29回伊勢原駅伝競走大会 (総合運動公園スタート)
	・子ども科学館 自由研究相談室 (伊勢原市立子ども科学館)	2月	・公民館まつり (市内全公民館)
9月	・子ども科学館 自由研究展示会 (伊勢原市立子ども科学館)	3月	・教育委員会表彰、スポーツ賞表彰 (伊勢原市役所)
			・第27回大山登山マラソン大会 (伊勢原駅前スタート)

◇ 電話：(市役所代表)0463-94-4711 担当の内線は以下のとおり

■教育総務課 5110 ■学校教育課 5120 ■指導室 5130 ■文化財課 5210 ■社会教育課 93-7500(直通)

■教育センター 95-2211(直通) ■スポーツ課 97-7266(直通) ■図書館 92-3500(直通)・子ども科学館 92-3600(直通)

◇ E-mail：k-soumu@isehara-city.jp

問い合わせ

きょういく 伊勢原

目次

1面 中学校給食導入検討経過とスクールランチの改善・充実

2面、3面 「生きる力」をはぐむための様々な取組

4面 トピックニュース、23年度主な事業

発行：伊勢原市教育委員会 編集：教育総務課 TEL0463-94-4711 〒259-1188 伊勢原市田中348番地

★平成18年の「教育基本法」の改正により、新学習指導要領への移行(小学校は平成23年度～、中学校は平成24年度～)など教育環境は大きく変わろうとしています。今後の教育行政の取組などを保護者を始めとする皆さんに知っていただくため、伊勢原市教育委員会の情報紙「きょういく 伊勢原」を発刊することとしました。

中学校への給食導入は、当分の間見送りに 昼食支援策として、スクールランチを改善・充実

教育委員会では、食育の推進及びお弁当を持参できない生徒の昼食支援の観点から、平成17年度から、導入のための検討委員会などを設け、平成24年度を目標に「中学校給食」を実施するための準備を進めてきました。

しかし、長引く経済不況は市の財政運営に深刻な影響をもたらすとともに、学校現場でも新学習指導要領の実施に伴う授業時間数の増加など、さらなる検証が必要な状況が明らかになり、平成24年度を目途としていた「中学校給食の導入」を当分の間見送ることとしました。なお、導入する環境が整った段階で、すぐ実施するための検討・準備は、引き続き取り組んでいきます。

一 これまでの主要な検討経過 一

これまでの導入検討にあたっては、アンケートの実施、検討委員会や説明会への参加など、保護者及び学校関係の多くの方々の協力をいただきました。改めて、これまでの主要経過などをお知らせします。

《主要な経過》

◆中学校給食推進検討委員会の提言

(H17年度設置)

- ①選択制給食や完全給食を含め、魅力ある中学校給食の実現に取り組むことが望ましい
- ②現段階では、喫緊の課題である弁当を持参できない生徒への支援策を優先して講ずるべき

*この段階で昼食支援策の「スクールランチ」が提言され、H18年度から開始しました。

◆中学校給食導入検討委員会の提言

(H19年度設置)

- ①計画的かつ着実な方策による早期実施を望む
- ②給食による総合的視点をもった食育推進
- ③厳しい財政状況下、最小の経費で最大の効果が得られる方策での実現に努力を
- ④家庭弁当を望む家庭或いはアレルギー等により家庭弁当が必要な生徒に対する配慮を
- ⑤早期実現のために、選択制を含めたセンター方式若しくは完全委託方式が現実的手法

◆提言を受けた教育委員会としての提案

デリバリー方式案の提示と保護者説明会の開催

(H22年2月)

・多様な意見があり、結果としてデリバリー方式でのコンセンサスは得られず

◆教育委員会議での再度の検討(H22年3月)

- ・教育委員会議として保護者意見を勘案すると、「中学校給食でも小学校と同様な自校方式が理想」との結論
- ・その後、市長部局との調整の結果、厳しい財政状況や学校現場の状況を勘案した結果、当面、中学校給食の導入は見送ることとしました。

一 スクールランチの改善・充実 一

現在、お弁当を持参することができない生徒たちの昼食支援策としてスクールランチを実施しています。

各学校で多少異なりますが、朝8時から9時までの間に学校で代金支払いとあわせて注文を受け付け、昼食時間に業者が弁当を学校に届けてくれる、誰でも利用できるシステムです。

給食の導入が実現できるまでの間、このスクールランチを改善・充実して実施します。改善策としては、より一層利用しやすくするために注文の受付時間を拡大するとともに、教育委員会と弁当業者等が定期的に話し合う機会を設けながら、栄養バランスに配慮したメニューとするなどの充実を図っていきたく考えています。

[担当：学校教育課]



(中学校スクールランチの一例)

「生きる力」をはぐくむための 様々な取組を紹介します

小学校では平成23年度から、中学校では平成24年度から新学習指導要領が全面実施されます。子どもたちの「生きる力」をはぐくむことを目標に、授業時数を増加するとともに、言語活動や理数教育、外国語教育、道徳教育などを充実していきます。

◆指導体制の充実や特色ある取組

伊勢原市教育委員会では、子どもたち一人ひとりの確かな学力と豊かな人間性、健康・体力をはぐくむため、学校教育における様々な取組を実施しています。

◆きめ細やかな学習指導体制の確保◆

小学校1.2年生

35人学級の実施

[担当：指導室]

一人ひとりの資質や能力を伸ばし、個に応じたきめ細やかな学習指導を行うため、小学校1.2年生で35人学級を実施しています。(平成22年度、国基準では40人学級です)



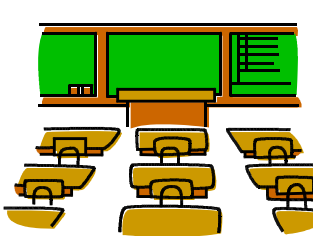
小学校35人学級

◆きめ細やかな学習指導体制の確保◆

少人数指導の実施

[担当：指導室]

各校の実状に応じて対象学年や教科を定め、クラスを2つに分けて授業をする少人数指導を行っています。主に、小学校では算数、中学校では数学、英語で実施しています。

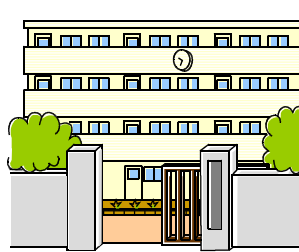


◆きめ細やかな学習指導体制の確保◆

クラスへの指導補助員、 介助員の配置

[担当：指導室、教育センター]

基礎・基本の定着や集団生活への適応などを積極的に図るため、担任の補助・支援として主に小学校1年生や中学校に指導補助員、特別支援学級に介助員を、担任に加えて配置しています。



◆小学校英語活動の推進◆

AET(外国人英語指導助手) による英語活動の実施

[担当：指導室]

中学校に加え、小学校にもAET(外国人英語指導助手)を配置し、英語活動に取り組んでいます。新学習指導要領に対応し、小学校への配置日数を充実させていきます。



小学校英語活動

◆情報教育の推進◆

ICT機器を活用した授業の実施

[担当：教育総務課、指導室]



パソコンを使った授業

各クラスに地上デジタルテレビを配置し、各学校には、電子黒板やパソコン、プロジェクターなどのICT機器を整備しました。それらを効果的に活用し、「分かる・考える・伝える」力を伸ばす授業を行っています。また、携帯電話やインターネット利用時のルールやマナーなどに関する授業も行っています。



電子黒板を使った授業

◆科学技術の学習◆

子ども科学館と連携した 移動教室の実施

[担当：指導室、図書館・子ども科学館]

理科学習へのより一層の興味や関心、理解を深めるため、学校と子ども科学館が連携し、科学の不思議にふれる魅力ある授業を行っています。



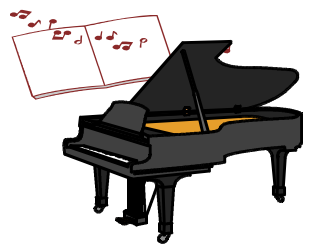
子ども科学館での移動教室

◆様々な体験活動の推進◆

音楽鑑賞会、 演劇鑑賞会などの実施

[担当：指導室]

子どもたちの豊かな心をはぐくんでいくため、様々な体験活動を行います。オーケストラやミュージカルなどの公演を鑑賞する機会も設けています。



◆学校などの教育相談体制の充実

子どもたちや保護者の悩みや相談に的確に応じることができるよう、教育相談体制を充実させています。

◆支援・相談体制の充実◆

小中学校 スクールカウンセラーの派遣

[担当：教育センター]

学校において子どもたちや保護者などからの様々な相談に応じるため、定期的にスクールカウンセラーを派遣しています。中学校に加え、小学校にも派遣を充実させていきます。



学校の相談室

◆支援・相談体制の充実◆

教育相談の充実と 継続的な発達支援

[担当：教育センター、子育て支援課]

子どもたちや保護者の悩みについて、教育センターでは来所や電話などによる相談に応じています。また、児童相談センターでは、乳幼児期からの継続的な発達支援を行っています。



◆学校施設の整備推進

昨年12月に桜台小学校2期校舎の改築工事が完了し、市内の小中学校は耐震補強工事がすべて終了しました。

◆安全・快適な学校施設への改善◆

計画的な学校施設の改築・改修工事

[担当：教育総務課]



改築した桜台小学校2期校舎

教育委員会では、学校生活における児童生徒の安全確保を第一に、学校施設の計画的な改築・改修を進めています。これまで行ってきた改築・改修により、小中学校の校舎・体育館の耐震化率は100%となり、今後も、手すりや雨漏り、トイレ改修など、順次進めていきます。



トイレの改修(みんなのトイレ)